【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成16年7月15日(2004.7.15)

【公開番号】特開2002-16912(P2002-16912A)
【公開日】平成14年1月18日(2002.1.18)
【出願番号】特願2000-194252(P2000-194252)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｎ　7/24
　Ｈ０３Ｍ　7/30
　Ｈ０４Ｊ　3/00
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｎ　7/13　Ｚ
　Ｈ０３Ｍ　7/30　Ｚ
　Ｈ０４Ｊ　3/00　Ｍ

【手続補正書】
【提出日】平成15年6月25日(2003.6.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
動画像を入力し符号化パラメータを調整して圧縮符号化する動画像符号化装置において、前記入力画像信号を基に予備的符号化画像を作成し、その予備的画像と前記入力画像信号とを多重化し、その多重化信号を１つの符号化器により圧縮符号化し、その圧縮符号化の際は、前記符号化器による前記予備的符号化画像の符号化結果に基づき符号化パラメータを調整し、
上記調整された符号化パラメータにより圧縮符号化された前記入力画像信号を出力する動画像符号化装置。
【請求項２】
前記予備的画像と前記入力画像信号との多重化の際は、前記入力画像信号を１ピクチャ時間遅延させ、その１ピクチャ時間内に１ピクチャ分の前記予備的画像と前記入力画像信号とを多重化し、
前記符号化器による前記予備的符号化画像の符号化結果に基づき符号化パラメータを調整する際は、次ピクチャの前記入力画像信号を圧縮符号化する際の符号化パラメータを調整することを特徴とした請求項１に記載の動画像符号化装置。
【請求項３】
前記予備的符号化画像として、前記入力信号より画像の連続する部分を切取ったものを用いることを特徴とした請求項１または請求項２に記載の動画像符号化装置。
【請求項４】
前記予備的符号化画像として、前記入力信号より画像の不連続な部分を切取ったものをつなぎ合わせた画像を用いることを特徴とした請求項１または請求項２に記載の動画像符号化装置。
【請求項５】
前記予備的符号化画像として、前記入力信号と同じ解像度のままの画像を用いることを特徴とした請求項１または請求項２に記載の動画像符号化装置。